

『 G (爺) ・ G (爺) ライダー 』

橋 亨

1969年制作の映画「イージー・ライダー」のシーンは今もしっかりと目に焼き付いている。「イージー・ライダー」ならぬ「ジュー (爺) ・ジュー (爺) ライダー」こと私の趣味のバイクの事を書きたいと思う。昨年、後期高齢者の仲間入りをした今もまだ大型バイク (ハーレー) に乗っている。16歳で大型自動二輪免許を取得し、高校生当時バイク通学が認められていたため、高校へは原付バイクで通学していた。バイクはそれほど好きと言う訳ではなかったが、休みに同級生と通学用のバイクで近くの観光地などへ行っていた。決して暴走族ではなくごくまじめな高校生であった。24歳の時にアメリカに数ヵ月滞在していたが、休日にメキシコまでレンタカーでの旅の途中、アリゾナの広大な草原を走る三台のハーレーと遭遇、まさに映画「イージー・ライダー」のワンシーン、なぜか大きな感動を覚え、いつかはハーレーに乗ってみたいと夢見ていた。50歳を過ぎ6年間の単身赴任での転勤先はいずれも雪国であった。この地ではバイクで走れる期間は極めて短く、また、職業上の立場もあり購入を諦めていた。

定年間際の58歳の4月に、再び関東の地元の職場に転勤辞令を受け、その一ヵ月後の5月の連休に近くのハーレーショップを訪れた。夢に見ていた沢山の大型のハーレーが並んでいた。店頭ハーレーを一台ずつ食い入るように見つめていると、店員が声をかけてきた。試乗車があるので試乗してみませんか？と言う、40年ものブランクがあり、絶対に無理ですと答えると、取りあえず一番小さいハーレーがありますので、是非試乗して見てくださいと言われ、ヘルメット、グローブを借りて恐る恐る試乗することになった。早速跨りイグニッションキーを回すと、エンジンは心地いい低音で響き、リズムよく動き出した。走り出してみると、なんとも言えない乗り心地、乗れるではないか！我ながら驚きの瞬間、40年ものブランクがあるのに今、私は憧れのハーレーに乗っている。

すっかりハーレーの虜になってしまった。定年まで後わずか、還暦も目の前、地方に転勤もした、一生懸命働いてきた。最後の自分へのご褒美にと勝手に決めつけ、帰宅後、妻に最後のお願いと頼み込み、58歳にして、ついに憧れのハーレーを手に入れた。

初めて購入したのは、「XL1200 LOW」という車種で排気量1200ccであった。これで休日いきなり初ツーリングに箱根に行ったがなかなかいい感じ

の走行であった。



(初めて購入の「XL1200 LOW」)

一人で楽しむのもいいが、仲間と一緒に走りたいと思い、HOG (ハーレー・オーナーズ・グループ) というハーレー所有者の世界規模のクラブがあり、その日本支部に加入した。毎月最終日曜日にハーレー仲間が集まり、ツーリングが行われ、この企画で色々な所に行った。

HOGで毎年、年に一度日本全国からハーレー仲間が約一万人集まる「富士ブルースカイヘブン」というイベントが富士スピードウェイで行われる。皆テント持参しコース横でキャンプし、ハーレー仲間の語り合いが行われ、イベントや花火も打ち上げられる祭典。またF1の走るコースをハーレーで走る事が出来、私は毎年参加していた。コロナもあり、暫く開催されていなかったが、昨年から再開される事となった。



ハーレーの魅力は、車種にもよるが、ラバーマウントと言って、エンジンがラバーの上に置かれ、車体の

振動を抑えている。そのため、まるで人間の心臓の鼓動のようにエンジンがユラユラと揺れ、振動が吸収され乗り心地（高速安定性）が非常に良く、またエンジン音（低音でスローなリズム）が心地いいのである。ハーレーが「鉄馬」と呼ばれる所以はそのためである。全身に風を浴びて走る事で、空気の微妙な温度の差を肌を感じ、まるで鳥になって飛んでいるような感覚が味わえ、突然の雨でぬれても、走っていれば衣服は自然に乾き、正に自然の中で人間は生きている実感ができる、これは車では味わえない魅力である。



(二代目「FXDC 1600cc」)



(三代目「FLHX 1745cc」)



(四代目「XLT 1200cc」)

初代から4台乗り換え現在に至っており、毎年夏に北海道ツーリングに出かけている。フェリーを利用し、大洗港又は、新潟港から苫小牧か小樽に向かう。すでに10回を超え、キャンプしながら北海道を走る。何度行っても飽きないそれほど北海道ツーリングは魅力がある。今年は九州一周ツーリングに行く。

58歳からリターンライダーとなり、人生観が変わった。バイクという趣味を通して色々な人と巡り合うことが出来き、友人が増え、楽しい語らいの場が増え

る。危ないからやめると心配してくれる家族の反対を押し切って、乗っている。G・Gライダーから趣味のバイクを奪われると、私自身一気に高齢化が進み、筋肉量が急速に落ち、体力減退、楽しみのない老後生活になる事は必至だと思う。なので乗れるうちに乗っておこうと思う。

さあ～明日も乗るぞ！「頑張れG・Gライダー」！！

